

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施策	子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり
概要	子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠、出産から、育児期を通じた切れ目のない支援の充実を図る。 また、食育の推進や学童期・思春期における保健対策や小児医療費の助成等により、子育てしやすい環境整備を行う。 さらに、地域ぐるみで子育て支援体制を構築し、安心して子育てできる環境整備を図る。 また、保育の質の向上と量の確保を図るとともに、子育てに関する講座の開催や相談を通じて、保護者がともに育ち育て合う環境づくりに取り組む。

数値目標

指標名	基準値	目標値
安心して結婚・出産・子育てできる社会になっていると思う人の割合	32% (平成27年度アンケート)	40% (平成31年度アンケート)
合計特殊出生率	1.19 (平成25年度実績値)	1.4以上 (平成31年度実績値)

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
子育て環境に対する町民の評価（加重平均）	0.18	0.30 H29アンケート				0.50以上	
年少人口割合	10.7%	10.7%				10.2%以上	
待機児童数	10人	5人				0人	

【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
子ども・子育て家庭への切れ目のない支援実現プロジェクト	Ⅱ
子どもを安心して預けることのできる保育・子どもの居場所づくりプロジェクト	Ⅱ
成果や課題（箇条書き）	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサロンとファミリーサポートセンターの運営により、子育て支援体制の向上が図られている。 出生数は減少しているが、育児不安等の相談は増加傾向にあるので、相談窓口の紹介や関係各課、機関との調整が必要。

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)
 I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
 II：一部、事業を改善する必要がある
 III：プロジェクト全体を見直す必要がある
 IV：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、総合的な相談ができる体制の整備により、子育て支援体制のさらなる強化が必要である。 また、妊娠前からアプローチし、正しい知識や早い段階でのライフプランの設計の重要性等を知ってもらうことを通じて、出生率そのものの上昇を図る必要がある。

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	平成29年度より子育て世代包括支援センターを開設し、保健師等の専門職による妊娠、出産から育児期を通じた切れ目のない支援を目指す。
----------------	--

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]
意見等	<p>若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくるためには、妊娠、出産から育児期を通じた切れ目のない支援は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、KPIについては順調に進捗したもの、施策による効果の検証は短期間で判断しがたいため、引き続き、着実な取り組みの推進が必要である。</p> <p>今後さらに施策を推進するために、多様化する保育ニーズを反映しつつ、地域の実情に合った特色ある保育サービスの提供に努めるとともに、保育人材の確保を進め、短期的な問題解決だけでなく、中長期的な視点に立って、安心して子育てできる体制を構築していく。併せて、子どもは、次代を担う社会の一員であることから、家庭はもとより、地域、企業、行政等が連携・協力を深め、子育て支援体制の充実に努める。</p>